



JA長崎県中央会の概要

協同の力



JA長崎県中央会の沿革、概要

- 昭和29年11月5日設立
- JA(組合)の指導・教育を行う総合的指導機関として設立された非営利法人
- 監査士制度の発足(昭和30年4月1日)
- 農協研修所の開所(昭和54年7月)
- 「農協」から「JA」へ(平成4年)
- 「新農協合併構想」の策定・推進(平成5年3月)
- 新農協合併構想の実現(平成18年4月) ⇒ 県下7JA体制へ



- 本会は、長崎県内JA(農協)の運営や事業に関し、様々な面から指導を行う団体です。
- 農協法に基づき設立された法人であり、経営指導、監査、教育及び情報の提供、調査・研究、農政・広報、食と農に関する活動など業務は多岐に渡ります。
- 昭和29年の設立以来、多くの先輩がJAのため、農業振興のため力を尽くしてきました。
- この伝統を受け継ぎ、新しい時代に対応できる人材を募集します。

中央会の業務内容は高度で多岐に渡ります 仕事を通じて自らを磨くチャンス！

農業振興部

担い手対策推進（農家経営支援事業）
販売事業改革
広報活動（農業、JA理解促進、PR等）
営農指導体制整備
農政対策、農政運動
JA青年部・女性部事務局、育成指導

経営指導部

コンプライアンス指導
内部統制確立対策
会計・税務指導
経営管理対策
人事労務管理指導
JAの経営動向の調査・分析

教育部

JA研修計画実践指導
役職員教育研修の実施
施設利用研修の実施

JA支援のため**専門性、熟練度、様々な力が求められます**

情報対策部

県センターの運用及びシステム開発
県下JAのIT戦略にかかる企画推進

JA全国監査機構
長崎県監査部

県内のJAに対する財務諸表等監査の実施
内部監査・監事監査の充実・強化

組織・事業強化
推進室

県下JAグループの組織・事業強化
新たな中央会に関する検討

総務部

事業計画・予算管理
人事労務管理
総会・理事会等の開催事務
定款・諸規程の管理
会内情報化・システム管理

多彩な研修、先輩の指導でプロフェッショナルに育成します！

農業、JAのため一緒に働いてみませんか

仕事を成し遂げた後の喜びは格別です



教育・研修の一例	
基本研修	<ul style="list-style-type: none"> ① 新入職員研修(10日間) ② 新入職員フォロー研修(2日間) ③ JA戦略型人材育成研修(15日間(4回)) ④ 監督者研修(3日間) ⑤ 管理者研修(3日間) ⑥ 接遇研修(2日間) ⑦ 農家研修ほか
専門研修	<ul style="list-style-type: none"> ① JA監査士受験者相互研修(3日間) ② 毒劇物取扱者試験受験者研修(2日間) ③ その他、各事業に関する研修
職場内研修(OJT)	配属部署において業務に従事しながら他職員による業務の説明・指導
担当業務に関する専門研修の受講	JA全中、外部機関(JC総研、九州生産性本部、税務研究会等)が主催する研修会への参加
資格取得	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業協同組合監査士 ・ 全国JA職員資格認証統一試験制度

待遇等概要	
勤務時間	8時30分 ~ 17時
賞与	年2回(前年度実績 4.0か月)
通勤交通費	規程に基づき支給(上限3万円)
社会保険	健康保険・雇用保険 労災保険・厚生年金
健康診断	入会初年度より毎年実施
レクリエーション活動	野球部、生け花、書道教室など
勤務地	長崎県JA会館(長崎市出島町) または教育部(諫早市貝津町)